

企業・団体名（ 株式会社中嶋製作所

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	チェック項目	取組レベル	【今後の】の場合選択入力	【今後の】の場合選択入力	具体的な取組 （他などの取得基準があれば、併せて記載） （赤枠部）を選択した場合こちらには記載（記述）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本（必須）			製品やサービスの安全は、設計、製造を通して社内検証を行っており、それにも不十分なケースを想定し、PLI保険にも加入している。									3.9						12.4				
30	【品質保証】 ・品質のいいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本（必須）			ISO9001に沿った「品質マニュアル」での生産活動を実践している。																9			
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ（任意）			製品開発は、環境負荷物質を使用しないための社内周知を行っている。										6					12	13	14	15	
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ（任意）			両半期毎に営業と製品開発の対内会議を開催し、社会課題に対する取り組みを定期的に評議する。また、新規事業開拓の際にも、社会課題に対する取り組みを考慮するなど相談して進めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本（必須）			地域事業者の会合に担当者が出席し、自社事業が地域に与える影響を把握することにより、必要に応じて対応している。また、各市町村の学校の社会見学や学習会等積極的に受け入れている。									4					9	11	12	14	15	17
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ（任意）			地元社会貢献活動に参加し、役員についても積極的に引き受けている。また、社会貢献活動の労作外報酬は、構造力にて支払っている。また、最大災害発生時に、市、県、市商事等に義援金を提出している。									4					11	14	15	17		
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地元地産、地産外商）している	チャレンジ（任意）			地元企業との連携により、地元地産や地産外商を買付いている。また、地元取引先の肉はそのまま製品について地産地消に配慮し、社員に対する購入等を促している。									8	9			11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本（必須）			社員、経営理念を全社員と共に共有するうえ、毎週朝礼で唱えるように、社内掲示を行し、周知徹底を図っている。									8	9							17		
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本（必須）			コンプライアンス運営については、就業規則等により周知しており、役員会や部門メンバー会議においても議論し、社内インフォーションにて各社員に周知徹底を図っている。																16			
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本（必須）			安全管理委員会に環境担当者を任命し、環境に関する取組を周知徹底している。																	16		
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話をにより、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本（必須）			ISO9001:2015の活動を通じて、自社の活動が及ぼす影響を把握し、適切に対応している。																16			
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ（任意）			ISO9001:2015の活動を通じて、リスクを特定・把握し、リスクアプローチによるマネジメントしている。																	16		
41	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考え方に基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ（任意）			地元環境に配慮した生分解性プラスチックの活用を進めており、環境に及ぼす影響を軽減するための活動を継続している。																16			
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ（任意）			定期的な防災訓練の実施、停電時の対応、社内データのバックアップシステムの構築、サイバーセキュリティ対策など様々な観点におけるBCP対策を講じている。									9	11	13	13.1				16			
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ（任意）			事業承継に関しては、ひとまず完了している状況。									8	9							17		

上記以外で設定した取組項目

【記載漏れ事項】
「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組む予定のについては、「具体的な取組」前の（予定）を選択入力してください。）

(※)競争的き定いき、アインシスカンバニー認証制度、女性の活躍推進事業表彰、男女共同並進推進会議制度、農業生産実業所等表彰、信州豊かな環境づくり信州景観会議制度、長野県技能技術認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定制度、信州リサイクル製品認定制度、環境の環境にやさしい農業生産技術認定制度、長野県原産地呼称認定制度、信州でもっとも大賞、おぼし記念、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度

度、森林CO₂吸収証認制度、野鳥県産材CO₂量算証認制度、防護協力事業実施制度など)」
○この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)、行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成

○「その要件」は、ISO26000（ISO26000, Business & Responsibility Alliance）の（※2）行動規範を参考に、非財務情報（SDGsの観点）から社員へ期待される基本的な事項）について整理し作成されたもので、企業が風土へ向ける際には、チェック欄の「チェック」とあわせて、「具体的な取組」へ取組内容を記載し、サインして提出する形となる。

○企業が賃用者に対する際には、チェック機能のチェックと合わせて、**具体的な取扱い**と**取扱い場所**に對する記載
※1 - 組織の社会的責任に関する国際規範
※2 - 労働環境、製造プロセス等の環境内に對する責任を負っていることを確認するための規定

＜作成時のお願い＞

- 作成前に**「作成マニュアル」を必ずお読みいただき**、マニュアルに沿って作成してください。
 - 黄色に塗りつぶされている項目は入力必須項目ですので、入力漏れがないか必ずご確認ください。

＜作成後について＞

新規申請・更新申請、それぞれ対応方法が異なりますので、下記方法にてご対応ください。

■『新規申請』の皆さん

Excelのまま、申請フォームへ添付してください。

■『更新申請』の皆さん

本シートをPDFに変換いただき、ポータルサイトマイページ上よりアップロードしてください。

＜「具体的な取組」について＞

「取組レベル」の「基本」項目は全て入力必須です。「チェック項目」の内容に照らして、それについて記載時点で取り組んでいる内容について具体的に記載してください。